

岡田 新吾 (おかだ しんご) プロフィール

児童向け小説・絵本ほか 作品歴

岐阜県各務原市に生まれる。各務原市在住。

大学卒業後、東京のPR会社・広告制作会社を経て、30歳のときにUターン。これを機に、名古屋にて広告デザイン会社を起業。

広報や広告の仕事の傍ら、小学生を対象にした学年誌の編集にも携わる。

学研発行の「4年の科学」で7年間にわたり主役キャラクターを務めた『肉まん先生』のプロデューサーでもある。

やがて、児童小説にも創作の幅を広げ、処女作となる『約束のつばさ』を発表。

安城市図書館協議会の推薦図書に選ばれたのをはじめ、棕鳩十(むくはとじゅう) 児童文学書賞にノミネートされるなど、話題を呼ぶ。

2冊目に上梓した小学校高学年向けの児童小説『つばめの家』は、私立中学校の入学試験の国語の問題文に採用される。

絵本の第1作目となる『くらのななかよし兄弟 ヒーローになる!』は、羽島市全校の小学一、二年生を対象にした読み聞かせ本に選出される。

絶滅動物園プロジェクトの一環として2016年に発売された絵本『シャバーニ だいすき』は、地元の中日新聞と岐阜新聞を皮切りに、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など中央紙の記事でも大きな扱いで紹介される。

第5回 本屋さんが選んだ、子どもに読み聞かせたい絵本101冊(主催:愛知県書店商業組合)において『のび〜る のび〜る』と『クッピーとラムのたのしい森のピクニック』が選出される。

日本ベンクラブ会員

● 代表作

- 『約束のつばさ』 KTC中央出版(2009年発行) ★安城市図書館協議会 2009年冬の推薦図書に選定
- 『つばめの家』 東北出版企画(2013年発行) ★2018年 私立中学校の入学試験の国語の問題文に採用
- 『シャバーニ だいすき』 三恵社(2016年発行) ★東山動物園の監修を受けた初の公式ライセンス絵本
- 『うみのともだち、ぼくのともだち。』(2015年発行) ★名古屋港水族館の監修を受けた初の公式ライセンス絵本

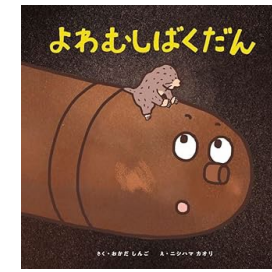
【児童向け小説・絵本】



「約束のつばさ」



「つばめの家」



「よわむしばくだん」



「シャバーニ だいすき」



「うみのともだち、ぼくのともだち。」



「はくろとんぼのぼうけん」



「のび〜る のび〜る」



「あちちあちち」



「肉まん先生
〜いつも心はホカホカ〜」



「なんじゃ?にんじゃ?
レモンじゃ!」



「クッピーとラムの
たのしい森のピクニック」



「だいじょうぶ ぼくがついてるよ
カテテルくん だいかつやく!」



「そお星人がやってきた!」



「くらのななかよし
兄弟ヒーローになる!」

【学年誌】



「4年の科学」(学習研究社 2004~2010年)